

## 診療科の特色

当院の放射線治療の歴史は古く、旧病院で1980年代にコバルトγ線による放射線治療を開始し、2011年の現病院移転時にシーメンス社 オンコア・ライナックシステム（X線、電子線）に更新されました。2017年に放射線治療科が新設され放射線治療専門医が常勤となり、2020年4月より地域がん連携拠点病院に認定されました。今回、放射線治療機器をアキュレイ社のラディザクトX7（X線）に更新し、2023年1～4月の工事・調整を予定通りに終了し、2023年5月8日から本格稼働しています。旧システムより高度かつより安全な放射線治療を提供出来るようになりましたので、放射線治療科へのご紹介等、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



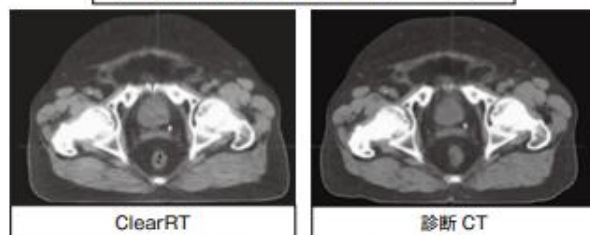
## 高精度放射線治療のご紹介

新機器は以前より行っている通常の三次元原体照射に加えて、以下の高精度治療が可能になりましたので概要をご紹介します。

### 1) 画像誘導放射線治療 (IGRT)

ClearRT システムによって治療機器で鮮明な CT 画像を取得し位置調整を瞬時にを行います。誤差の少ない再現性の高い治療が可能となりました。

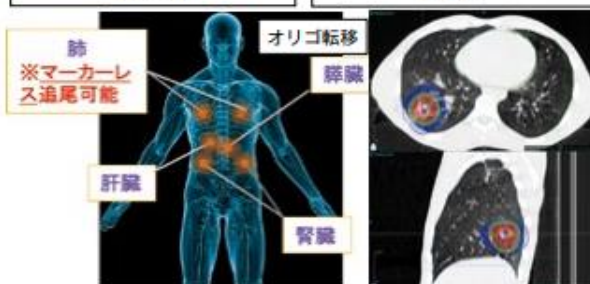
### ClearRT Helical kVCT イメージング



### 2) 体幹部定位放射線治療

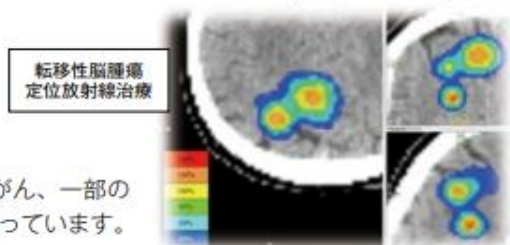
(保険適用：肺、肝、脾、腎、オリゴ転移)

Synchrony システムにより、動体追尾照射が可能で、特に肺腫瘍は陰影を追尾するための fiducial marker なしで可能です。追尾照射をすることにより、周囲臓器の線量低減、治療時間の短縮が可能となります。また、肺以外の定位放射線治療も可能となりましたので適応については当科にご相談ください。



### 3) 脳定位放射線治療

3cm 以下の少数個転移に対して 1～5 回の少分割定位放射線治療を行います。ガンマナイフやサイバーナイフと同等の治療を提供できます。



## 診療実績

2022年1～12月の症例内訳を提示致します。ほぼ全領域のがん、一部の良性疾患（バセドウ眼症、血管腫、ケロイド（術後）等）に対して行っています。

### 放射線治療全般

新規患者数	197
新患 + 再患	265

### 原発巣別新規患者数

1) 脳・脊髄腫瘍	5
2) 頭頸部腫瘍	2
3) 食道癌	9
4) 肺癌・気管・縦隔腫瘍	42
4) -a) うち 肺癌	40
5) 乳癌	25
6) 肝・胆・膵癌	9
7) 胃・小腸・結腸・直腸癌	11
8) 婦人科腫瘍	13
9) 泌尿器科系腫瘍	46

9) -a) うち 前立腺癌	36
10) 造血器リンパ系腫瘍	7
11) 皮膚・骨・軟部腫瘍	17
12) その他（悪性腫瘍）	1
13) 良性腫瘍	4

### 脳転移、骨転移（症状緩和治療）

1) 脳転移	12
2) 骨転移	45

### 特殊治療

定位放射線治療	肺：14
	肝：0
	オリゴ転移：0

## その他

2023年4月より日本放射線腫瘍学会認定施設を取得しました。この制度は、症例数、保有機器、安全・高精度に放射線治療を提供できる体制を申請し、同学会が認定し保証するものです。



## 外来医師担当表

令和5年8月1日現在

	月	火	水	木	金	備考
放射線治療科 (リニアック) 【予約制】	野元 諭	九大医師 (午前のみ) 野元 諭 (午後)	野元 諭	野元 諭	野元 諭	